

輝いている人

26生 猿飼歩さん



総科から教員に

Q. 所属領域を教えてください。

社会探究領域の現代社会システム授業科目群というところに所属しています。社会探究領域には四つの授業科目群があり、最終的には卒業時に一番多く授業を履修した授業科目群が所属領域ということになります。必修

の科目は一つもなく、最終的に卒業したときに、ここに所属していましたという扱いになるので、基本的に何してもいいということです。社会探究領域の中で私は一応現代社会システム授業科目群に属してはいますが、授業はどれをとっても良いというのと同じように、どの研究室に行ってもよくて。だからまあ、現代社会に属しているというけど、現代社会の授業を一番とったというだけで…研究室は青木利夫先生というメキシコの教育が専門の先生で、そこで私は日本の教育について研究をしています。

Q. どうして社会探究領域を選んだのですか？

これが大体本題とも関わってくるのですが…そもそも、広大の教育学部の社会系コースに入りたかったんです。西で教育と言ったら広大、み

たいなのがありますよね？それで、社会の先生になりたいから教育学部の社会系コース（いわゆる教社）がもちろんよくて、それが高校の時からありました。ですが、二次試験に国語が400点ある…ちよつと無理だつてなって（笑）。古典がほんまに苦手だから…

Q. それで総科にしたのですか？

もう、古典が無理だから、一回挫折して。でも、広大の中で教社以外なら総科だけは、高校の地歴と公民両方の教免がとれたので。そういう理由で総科に入りました。

教免の単位は、教職に関する科目とこのと、教科に関する科目というのがあって、教職に関する科目というのは教育学系の授業のことで、教育学部に行つて履修します。教科に関する科目というのは社会科の教育内容自体に関する科目のことで、地理学とか歴

史学の科目がこれに当たります。総科では、総科の専門の授業が一応、教科に関する科目に該当します、みたいな設定になっていて。教職に関する科目は卒業要件に入らないので、できるだけ少ない単位で教免とって卒業しようと思つたら、現代社会に行くというのがベストな選択でした。

Q. 勉強が嫌いと言っておきながら図書館とかでめちやくちや勉強していますよね？(笑)

勉強は嫌いですよ。だけどやるべきことをやらないほうが嫌いですね。だいたい大学入って、みんな自分の頭で考えますよね？この授業行かなくていいとか、面倒くさいとか、うまくいこと単位取れればいいやとか。でも何も考えずに、思考停止状態でとりあえず授業に行くんです(笑)。時間になったら、「あ、時間や行くこう」って。時

間や面倒くさいな、っていう思考を停止させているというか、そういう思考を停止しておかないと行きたくなくなるし、行けなくなるタイプなので。だから一回あえて思考停止してちゃんと行くこうっていう。まあ、やるべきと思うことは人それぞれですが(笑)。

Q. 総合科学部で教員免許を取るのキツイですか？

いいところをついてきましたね(笑)。しんどいです。

Q. 教免のために取る単位は卒業単位に入らないのに取らないといけないんですよね？

そうです。だから175単位くらい取らないといけないのかな(通常は128単位程度)。免許を高校の地歴と公民の二つをとっているからこそ多いのもあるけれど・・・今は1セメスターあた

り26単位が上限ですよ？だいたい二年生になって専門になったらみんな取る単位を20単位くらいに減らす。それで三年生の前期くらいには取り終わるか後期にちよつと取るくらい。それが、私の場合是一年生の前期と後期でそれぞれ26単位とって二年生になつたら35単位くらいに増えるわけです。教免だと上限がなくなるから。テスト前とかすごくタフです。テスト二週間前くらいからずっと引きこもっていました。

総科で免許取る人はそもそも少ないですよ。私の学年でも十五人くらいかな。地歴公民になると三人くらいで、公民はたぶん私一人。一人で教社の授業に行つて、教社がワイワイしている横で一人で・・・つらいですよ(笑)。過去問ももらえないし、休んだ時のプリントもとっておいてもらえないし、話し合いの時とかもつらいよ

(笑)。その頃は、大学生なのに授業行くだけでいっぱいっばいで。授業行ってサークルだけは頑張っつて、土日は本当に家で寝込んでる、みたいな感じでした。

Q. その時バイトはしていたのですか？

していた時もありました。二年の後期くらいに週1で塾のバイトをしていました。市内の、しかも下祇園という、可部線の駅の塾で。だから広島へ行っつて、乗り換えてさらに3駅分ぐらいいあって片道一時間半もかかっていました。冬とか寒いんですよ、また。それで、ここから駅までの道が遠いんです。もう・・・寒いですよ。

Q. どうしてそこに行ったんですか？

私の友達がそこでやっていたので。それで、まあ楽しそうだしここでいいかと思っつて。塾でしようとは思っつていま

した。やっぱり先生なので(笑)。まあ、一応役立つかなというくらいで思っつて、塾だったら正直どこでもよかつたんです、そんなにしんどくなければ。大学の勉強のほうが大事だと私は思っつているので。

Q. 電車の中で教える内容を勉強したりするんですか？

うん。でも、個別指導っつて正直あんまり指導に準備しなくていいんですよ。ただ、やる気にさせるのは難しい。机に向かつて六十分集中させるのが。その塾で本当に学んだのは、勉強に向かわせるために教材をできるだけおもしろいもの、わかりやすいものにしよつうとか、学力のレベルを合わせよつうとか。あとは授業が始まっつたときどんな雑談をしよつう、とか。塾だから勉強ができればそれでいい、みたいな感じで学校とは少し違っうけど、勉

強になりました。教員になるという明確な目的をもつて、その目的の実現に向かつてしよつかりと取り組むことができたと思っつています(笑)。

Q. 学生時代頑張っつたことや、思い出はありますか？

頑張っつたことは当然勉強ですよ。高校のときは、卒業後のことは何も考えなくて、正直、就職してもいいかなくらいにしよつか思っつていませんでした。何も考えなくていいなかつたし、周りもそんな友達ばっかりだつたし。まあ、なぜかなんとなく勉強はそれなりにできるよつうになつたから大学行っつてみるかくらいで・・・そんな感覚で大学行っつて先生になろつうと思っつて。だから、最初は本当に教免をとるためだけに大学来たという感じでした。大学っつて何やっつてもいいじゃないですか？例えば部活、バイト、留学。寝て

いてもいいわけだし。でも私はそれを一応、先生になる、教免をとるという目的をもって来たので勉強を頑張ったという感じですね。

あとサークルは、まあ頑張ったかなと思います。一応キャプテンもやったし、全国大会にも行ったし。

あと学生時代の思い出は、いろんなところに行ったのがよかったかなと思います。中国、四国、九州は全部行ったし、兵庫、大阪、京都とか。九州一周って言って車でガーターて行くんです(笑)。初日で広島から鹿児島まで、鹿児島に実家がある友達がいたから、十時間ぐらいかけて行って、熊本が実家の友達も一緒に行って、福岡が実家の友達がいてみたいな。楽しいですよ、大学の友達の実家行くの。東京も車で行きました。これも十時間ぐらいかけて。あとまあ、三年の夏休みにドイツとフランスにも行きました。その時ド

イツでオクトーバーフェストが開催されていて。知らない人がわーっと集まって、めっちゃビール飲む、みたいな(笑)。すごく楽しかったです。

Q. ドイツでも英語通じましたか？

英語はたぶん通じます。私は話せないんですけど。私はドイツ語も大学で履修していました。まあ話せないんですけどね。英語はあんまり話せないから、適当にイエーって(笑)。でも、こういうった経験を将来子どもたちに伝えていければいいかなくらいには思っています。地理の先生なので(笑)。

Q. 苦労したことは？

苦労したことはさっき言った免許を取るのがしんどいという話と、あと、採用試験は苦しかったです。教育実習は、楽しくはなかったけど、もう何とつか、すごく良かったんです。授業

の指導案っていうのがあって、こういう授業で、これを言つて、生徒にこれを答えさせて、これを説明します、という計画書みたいなものなんですけど。でもそれを一切準備せずに、指導案「無」の状態で行つて。当然一回目とかはろくな授業が出来るわけないじゃないですか。それでまあボロボロに怒られて、ちよつと涙目になって。生徒の反応はすごく素直で、良くも悪くも。面白くない授業をしたら無視される。でも、やっぱりいい授業したら聞いてくれるんです。授業が良くなるって反応も良くなるっていうのを、しっかりと身をもって学ぶことができ、尋常じゃなくいい経験でした。もちろんすごくしんどかったです。でも、先生になるうというモチベーションはとも上がりました。

そのすぐ後に採用試験の集団討論があつて、その三週間後に筆記の試験

があつて。そこでまだ世界史と日本史が全然仕上がっていない状態で（笑）。だから一日十時間くらい勉強して。わからないところを調べたりしながらずっと一人で世界史と日本史の教科書を読むというのを三週間やって行ったら、なんとか受かった。しんどかったです、ほんまに。なんで受かったのかよくわからないんですけど（笑）。

Q. 先生になるに向けて、抱負を教えてください。

やるからには良い先生になりたいと思いますね。まあ・・・あんまり真面目な事言うのも恥ずかしいな（笑）。良い先生になりたいと思うけど、良い先生って何かという話ですよ。それは先生それぞれが持っているものだと思いますけど、私は、どれだけ生徒のためにできるかっていうところだと思っています。それでまた、生徒

のためにとっても、生徒それぞれによっても違うし、同じ生徒でもいつのタイミングかというので、どういうふうに接したら生徒のためになるかというのは変わってくるじゃないですか。目的は生徒が社会に出て通用するようにということ、でも、また社会というのも変わっていくもので。五十年後には人間の仕事の半分はAIに取られているという人もいるくらいだし。それぐらい急激に社会が変わっている中で、その変わっていく社会の中でも生きていける人間を育てなければならぬと。だから、変わっていく社会に対応して、そこで生きていける子どもを育てられるように、生徒のために常に学び続ける先生でありたいな、と思いますね。どうでしょう（笑）。

Q. 最後に、これからの新入生や教員を目指す学生を含めた総科生に一言お願いします。

います。

教員を目指す総科生へ、というのがいいかな。全員に偉そうなことは・・・そうですね・・・教員を目指す、言うならば同じ目標に向かって頑張る人なわけじゃないですか。場所は違いうしろ、将来の同僚みたいなものだからまあ、いい先生になりたいという思いを持って勉強をちゃんと一生懸命やって欲しいなと思います。偉そうですけど（笑）。先生は勉強を教えるだけではないから、バイトして、サークルして、ボランティアでもして、海外行って、遊んで、良い先生になって欲しいと思います。一緒に頑張りましょう。私が言うのもなんですけど（笑）。まあ、楽しい大学生活を送ってほしいと思います。

インタビュアー担当

岡本昂大、横山駆